



「FUJITSU Software LiveTalk」は、音声認識とリアルタイム転送技術によって発話内容を共有するコミュニケーションツールです。多言語の音声認識と、AIを搭載した翻訳エンジンに対応し、富士通SSLの独自技術によって即座に翻訳内容をテキスト表示する機能を実装しています。これにより、従来の聴覚障がい者とのコミュニケーションだけでなく、様々な言語間でのリアルタイムなコミュニケーションが実現できます。

【機能強化ポイント概要】

- ①19言語の音声認識と自動翻訳を実現。様々な言語間でのリアルタイムなコミュニケーションが可能
- ②発話と同時に翻訳結果を表示する独自技術（特許出願済み）で円滑なコミュニケーションを実現

LiveTalk概要

■ 聴覚障がい者と健聴者の容易なコミュニケーション

発話を音声認識しテキスト化したものを、聴覚障がい者のパソコンへ即時に転送することで、リアルタイムな情報共有が可能になるため、会議などの場でのコミュニケーションを容易にします。

■ 多様な入力手段による双方向コミュニケーション

音声認識入力のほか、パソコンからのテキスト入力やスタンプツール、定型文ツールを装備し、聴覚障がい者の発言をサポートすることで、円滑な双方向のコミュニケーションを実現します。

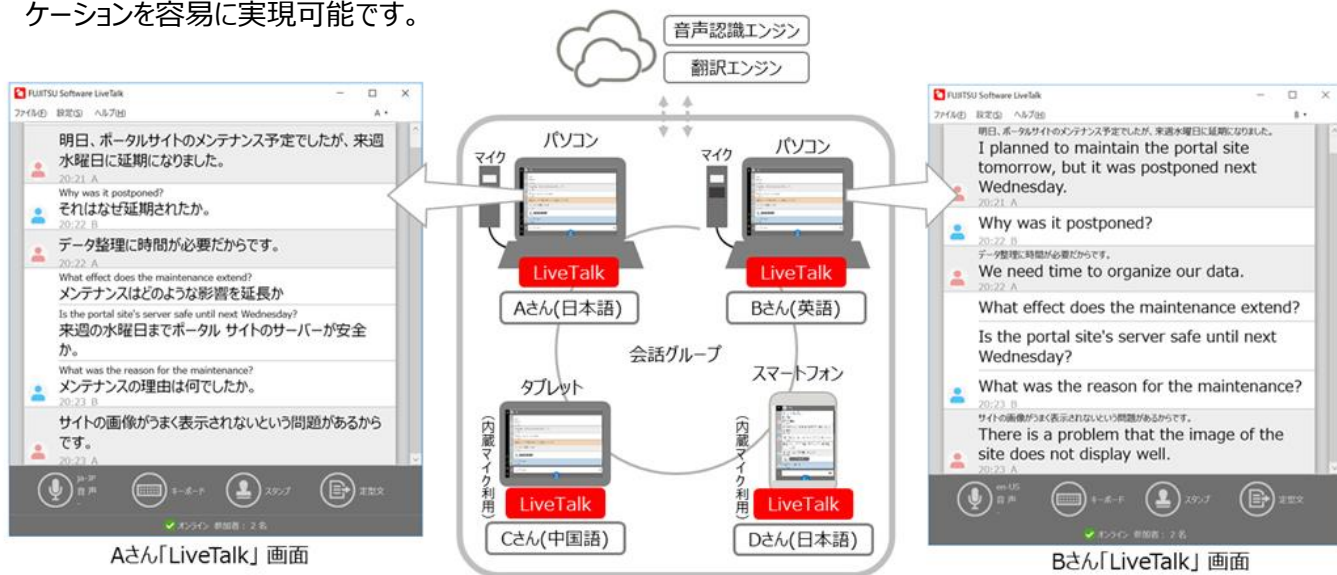
■ 発話と同時に翻訳結果を表示する独自技術で円滑なコミュニケーションを実現

発話と同時に翻訳結果を表示する富士通SSLの独自技術（特許出願済み）により、通常の会話と同様の感覚でテンポよくコミュニケーションをとることが可能です。

LiveTalk機能強化ポイント

1. 19言語の音声認識と自動翻訳を実現

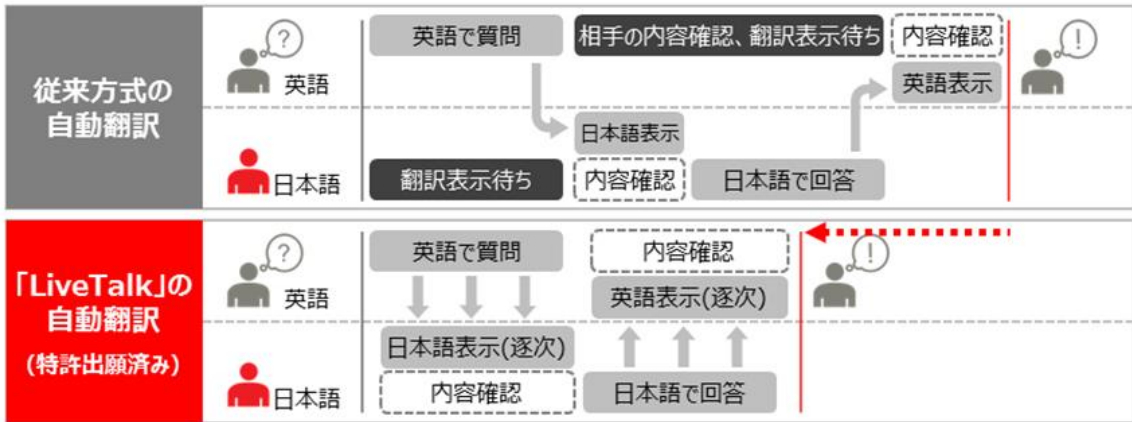
- 日本語のほか、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、ポーランド語、オランダ語、デンマーク語、フィンランド語、スウェーデン語、ノルウェー語、カタロニア語の全19言語間の音声認識、および自動翻訳に対応します。
- 日本語・英語・中国語(簡体字)・フランス語・スペイン語・アラビア語・ロシア語・ポルトガル語・ドイツ語・イタリア語の10言語においては、AIを搭載した翻訳エンジンに対応したことで、より高精度の翻訳が可能です。
- 利用者は、自分の端末に表示させたい一言語を選択するだけで、発話者の言語を指定した言語に翻訳して表示させることが可能です。発話者側の言語設定は必要なく、また、会話グループ内で利用できる言語の数や組み合わせに制限はありません。
- 複数の参加者から同時に発話があった場合でも発話者を識別して翻訳できます。
- 音声認識による入力以外にキーボードでの入力も可能なため、聴覚障がい者も他の言語を話す参加者とのコミュニケーションを容易に実現可能です。



注1：音声認識には、音声認識ソフトウェア「AmiVoice® SP2」または音声認識クラウドサービス「AmiVoice® Cloud」が必要です。
 注2：LiveTalk同士の接続にはWi-Fiまたは有線LANが必要です。音声認識クラウドサービスの利用には、インターネット接続が必要です。
 注3：多言語翻訳や多言語音声認識には、Microsoft Azure Cognitive Servicesの契約が必要です。

2. 発話と同時に翻訳結果を表示する独自技術で円滑なコミュニケーションを実現

- 発話と同時に翻訳結果を表示する富士通SSLの独自技術（特許出願済み）により、通常の会話と同様の感覚でテンポよくコミュニケーションをとることが可能です。
- 発話が終わってから翻訳結果が表示されるまでにタイムラグのある従来型の翻訳ツールと比較して、翻訳の待ち時間を省略でき、ストレスのないコミュニケーション環境を提供します。



動作環境

OS	<p>【Windowsパソコン/Windowsタブレット】 Windows 7 (32bit版 / 64bit版) Windows 8.1 (32bit版 / 64bit版) Windows 10 (32bit版 / 64bit版) .NET Framework 4.5.2以上 ※多言語音声認識にはWindows 10が必要です。自動翻訳は上記OSすべてで可能です。 【スマートデバイス】 Windows 10 Mobile (音声認識は、OS標準音声認識(無償)のみ対応) Android 4.3以上 (Android 5.0以上推奨) iOS 7以上 (iOS 10以上の最新バージョン推奨) (2017/04対応予定)</p>
その他	無線LANまたは有線LAN機能

価格

製品	価格(税抜)	備考
LiveTalk 5クライアントライセンスパック	200,000円	1クライアントライセンスで、PCまたはスマートデバイスいずれか1台にインストールできます。スマートデバイスのご利用には、保守サービス契約が必要です。
LiveTalk 1クライアントライセンス	50,000円	
LiveTalk 保守サービス契約 (1クライアント)	【年額】10,000円	
製品 (日本語音声認識オプション)	価格(税抜)	備考
音声認識ソフトウェア AmiVoice SP2(1クライアント)	19,800円	AmiVoice SP2はWindows OSでのみご利用可能です。音声認識クラウドサービスは、Windowsパソコン / Windowsタブレット / iOS / Androidでご利用可能です。音声認識クラウドサービス (共用プラン) は、小規模向けのプランですので、ご購入クライアント数が5以下の場合のみ選択できます。
音声認識クラウドサービス (専用プラン) 1社 ※お客様のご利用状況によりリソースが追加できるプラン	初期：300,000円 年額：600,000円～	
音声認識クラウドサービス (共用プラン) 1社 ※リソース共有により性能はベストエフォートですが価格を抑えたプラン	初期：5,000円	
製品 (日本語音声認識オプション)	価格(税抜)	備考
多言語音声認識 Microsoft Cognitive Service - Bing Speech API	月額 \$ 4/1000call	FUJITSU Partner Cloud Service for Microsoft Azureをお申込みいただくことで、柔軟なユーザ管理および請求書払いによる利用が可能になります (月利用上限ありの無料プランもあります)。
自動翻訳 Microsoft Cognitive Service - Translator Text API	月額 \$ 10/100万語	

※ Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
 ※記載の内容は、2017年3月現在のものです。



「DynaEye」シリーズは、高精度な文字認識を実現する業務用OCRソフトウェア製品です。運転免許証やマイナンバーカードのデータを活用する目的に特化した製品も用意しています。「BIP Smart」シリーズは、タブレットでの帳票業務(閲覧、入力)を支援するソフトウェア製品です。これまで紙でおこなっていた業務をタブレットに置き換えることで、ペーパーレス化による業務の効率化、スピードアップ、コスト削減を実現します。

『DynaEye (モバイルカメラ用OCR)』の概要

免許証などによる本人確認を取り扱い中の既存業態をターゲットに、免許証による本人確認をスムーズかつ省力化できます。



『BIP Smart』の概要

タブレットでの帳票閲覧や入力を支援し、ペーパーレス化による業務の効率化、スピードアップ、コスト削減を実現します。

1. 紙帳票をそのままタブレットで活用



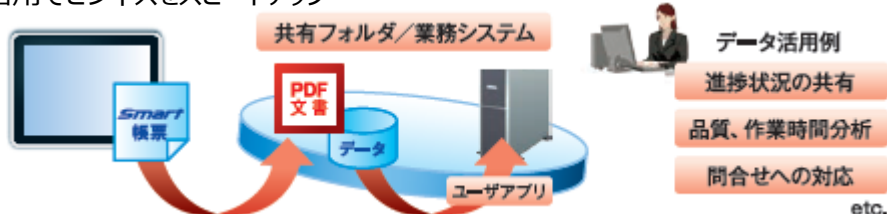
▶ 直感的な操作で、かんたんに定義、すぐ使える。

2. タブレットならではの便利機能で、業務効率を改善



▶ 様々な入力補助オプションにより、入力負担や記入ミスを削減

3. 入力データの活用でビジネスをスピードアップ



▶ 帳票入力データをデータベース化でき、状況把握や分析などの二次利用へ

『DynaEye (スキャナ用OCR)』の概要

スキャナで読み取った情報を活用し、入力業務を大幅に効率化できます。

実際に、ある100枚の帳票をデータ入力してみたところ・・・



入力時間 7時間
 ・紙を見ながらの手入力
 ・テキストデータの保存



入力時間 2時間
 ・スキャナ+OCR読取入力
 ・イメージを参照し、確認修正
 ・データ出力しテキスト保存
 ・イメージデータの利用も可能

製品シリーズ

【DynaEye (モバイルカメラ用OCR)】

導入するモバイル端末台数分のライセンスが必要。開発環境とは別の環境で運用する場合、別途ランタイムライセンスが必要。

製品名	適用OS	概要	価格(税別)
DynaEye 運転免許証カメラOCR	Android iOS	タブレット端末を使って読み取った運転免許証の情報を、本人確認や入力支援に活用できる開発者向けソフトウェアです。	¥450,000
DynaEye マイナンバーカメラOCR		タブレット端末を使って読み取ったマイナンバーカード・通知カードの情報を、本人確認や入力支援に活用できる開発者向けソフトウェアです。	¥450,000

【BIP Smart】

※導入するPC/モバイル端末台数分のライセンスが必要。追加ボリュームライセンスあり。

製品名	適用OS	概要	価格(税別)
BIP Smart 帳票連携 Edition	Windows Server	既存の帳票と入力フィールド情報からSmart帳票を生成するソフトウェアです。BIP Smartデザイン 1ライセンスを含みます。導入するサーバ物理プロセッサ(CPU)単位分ライセンスが必要です。	¥700,000
BIP Smartデザイン※	Windows	入力フィールド情報を作成する「入力定義ツール」と、複数のSmart帳票のデータをまとめてCSVにする「CSV変換ツール」が同梱されたソフトウェアです。	¥200,000
Smart帳票 Reader Pro for Windows※		Windows版タブレットにてSmart帳票の表示や入力を行うためのソフトウェアです。	¥36,000
Smart帳票 Reader Pro for iOS※	iOS	iOS版タブレットにてSmart帳票の表示や入力を行うためのソフトウェアです。	¥36,000
Smart帳票 Reader Pro for Android※	Android	Android版タブレットにてSmart帳票の表示や入力を行うためのソフトウェアです。	¥36,000

【DynaEye (スキャナ用OCR)】

※1 各商品1ライセンスで、各ソフトウェアをPC1台にインストールして使用することができます。別途追加ボリュームライセンス商品もあり。
 ※2 導入するPC台数分のライセンスが必要。開発環境とは別の環境で運用する場合、別途ランタイムライセンスが必要。

製品名	適用OS	概要	価格(税別)
DynaEye EX ※1	Windows	アプリケーションへOCR機能の組み込みを行う場合の開発環境。	¥450,000
DynaEye EX ランタイム ※1		DynaEye EX を利用して開発したアプリケーションの実行環境。	¥250,000
DynaEye EX Lite ※1		DynaEyeEXが提供するOCR認識アプリケーションのみを利用できるパッケージソフトウェア。アプリケーションの開発はできません。	¥300,000
DynaEye 運転免許証OCR ※2		スキャナで読み取った運転免許証の情報を、業務システムやソフトウェアパッケージに組み込んで活用するための開発者向けソフトウェアです。	¥150,000
DynaEye マイナンバーOCR ※2		スキャナで読み取ったマイナンバーカード・通知カードの情報を、業務システムやソフトウェアパッケージに組み込んで活用するための開発者向けソフトウェアです。	¥450,000

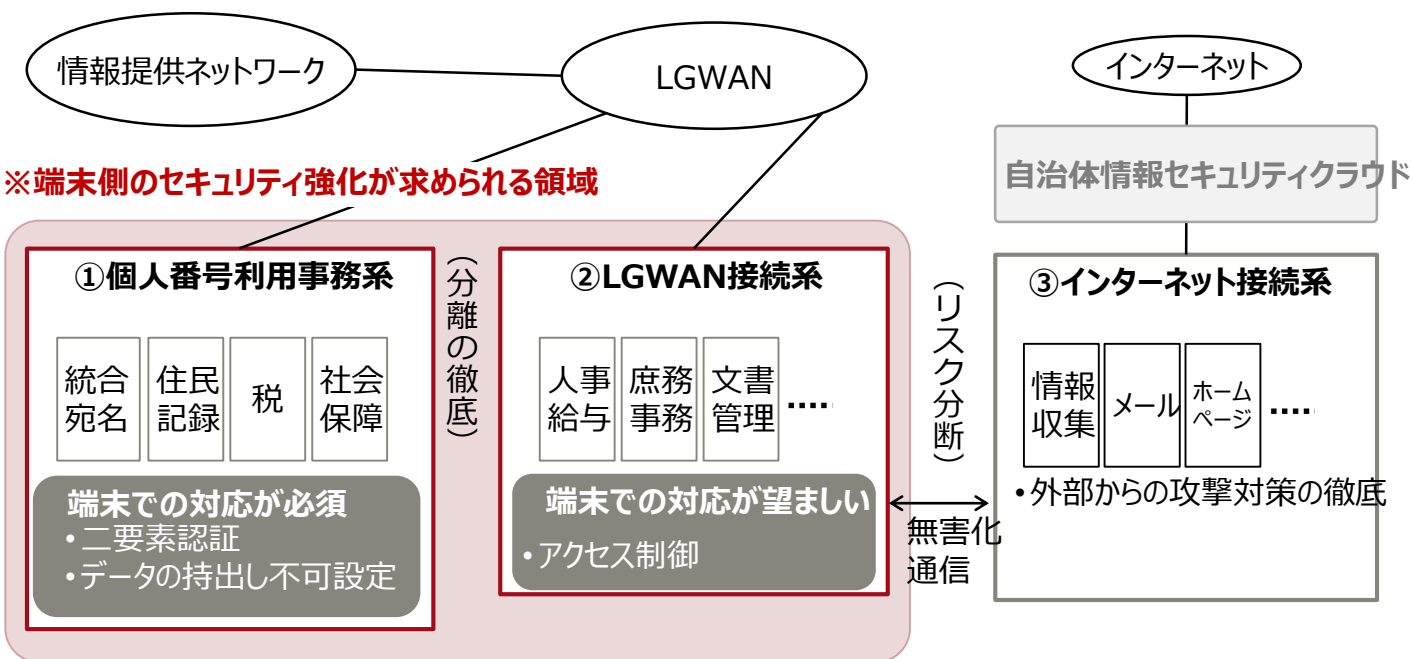
17年7月のマイナンバーによる情報連携開始を見据え、行政機関において、業務上のセキュリティ強化が求められます。
行政版セキュリティPCは、業務システム端末に求められるセキュリティ要件に確実に対応し、安心安全な行政システムの構築・運用に寄与してまいります。

【ここがポイント】

- ①総務省の「自治体情報システム強靱性向上モデル」に対応。必要な機能をオールインワンで提供
- ②「二要素認証を可能とする生体認証技術「手のひら静脈」センサーや「マイナンバーカード」リーダライタをパソコンに内蔵
- ③端末のログ収集と操作制限するソフトウェアをプレインストール出荷

端末に求められるセキュリティ機能

【自治体のネットワーク分離・再構築】



【①個人番号利用事務系、と②LGWAN接続系の端末に求められる要件】

新規	・3つのセグメント（個人番号、LGWAN、インターネット）に正しく接続	
	・二要素認証による端末へのログイン	
	・操作ログの収集・管理、データ持ち出し制限	
	・マイナンバーカードの読み取り（業務利用や将来、職員証となる可能性も）	
従来	・基本的に設置場所と利用者は固定	
	・盗難、覗き見等による個人情報漏洩対策	
	・ソフトウェアの脆弱性対策	※ネットワーク（サーバ）側での対応を想定
	・一般的なウイルス対策	※ネットワーク（サーバ）側での対応を想定

■ 二要素認証を可能とする生体認証技術『手のひら静脈』センサーをパソコンに内蔵

・快適な認証環境を実現

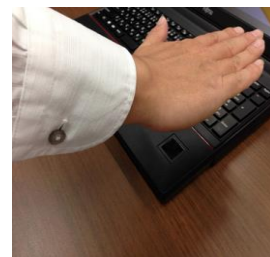
手のひら静脈認証は、カード認証のように「モノ」に頼る方式ではないため、破損や紛失、忘却などの心配、その対応にかかる管理者の負担がなくなります。また、その他の生体認証と比較しても、手荒れや傷などの外的要因の影響を受けずに認証が可能のため、利用者にストレスや制限を与えることなく、快適な認証環境を実現できます。

・小型センサーをパソコンに内蔵

世界最小・最薄・最軽量の小型手のひら静脈センサーをパソコンに内蔵。外付け接続に比べて省スペース化を実現。限られた机上エリアを有効活用します。

・端末単体での運用にも対応

「パソコン単体運用」と「サーバ型運用」（注1）両方に対応します。



手のひら静脈センサー

■ 「マイナンバーカード」の読み書きが可能

・「接触型カードリーダー」を内蔵

今後予想されるマイナンバーカード利用業務や、職員の個人認証にも活用できます。（注2）

■ 端末のログ収集と操作制限するソフトウェアをプレインストール出荷

・操作ログの収集

情報漏えいにつながる不正操作や不正ソフトの利用を心理的に抑止します。収集したログを参照することで、不正や違反操作の特定が可能です。

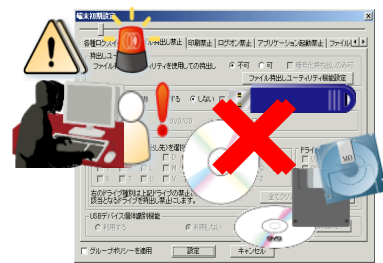
・操作制限（ファイル持ち出し禁止など）

外部記憶媒体へのデータ書き込み、メール添付、WebサーバやFTPサーバへのアップロードなどの操作を制限することで、データ持出しによる

情報漏えいを防止します。

・端末単体での運用にも対応

「パソコン単体運用」と「サーバ型運用」（注1）両方に対応します。



Systemwalker Desktop Keeper

■ 正しいネットワークへの接続

・「鍵付きLANケーブル」を同梱

指定されたネットワークセグメント以外への物理的な接続変更を防止します。

■ 盗難対策

・画面背面に所有者情報等を印刷（オプション）

所有者情報をPCの天板に印刷することで盗難／転売を抑止します。

・暗号化機能付SSDの活用

職員は意識せずにデータが暗号化保存されます。

・セキュリティワイヤー同梱



天板印刷（サンプル）

■ 覗き見対策

・ログオン後に画面の前にいるユーザーをカメラで検知するソフトウェアを搭載

離席時には自動的に画面をオフ。ユーザーの画像保存により、盗み見や第三者による不正入力を抑止します。

・覗き見防止フィルタ（出荷時に工場内で貼り付け済み）

注1）：サーバ運用をおこなう場合は、別途サーバ、サーバライセンスおよび端末の設定変更作業が必要です。

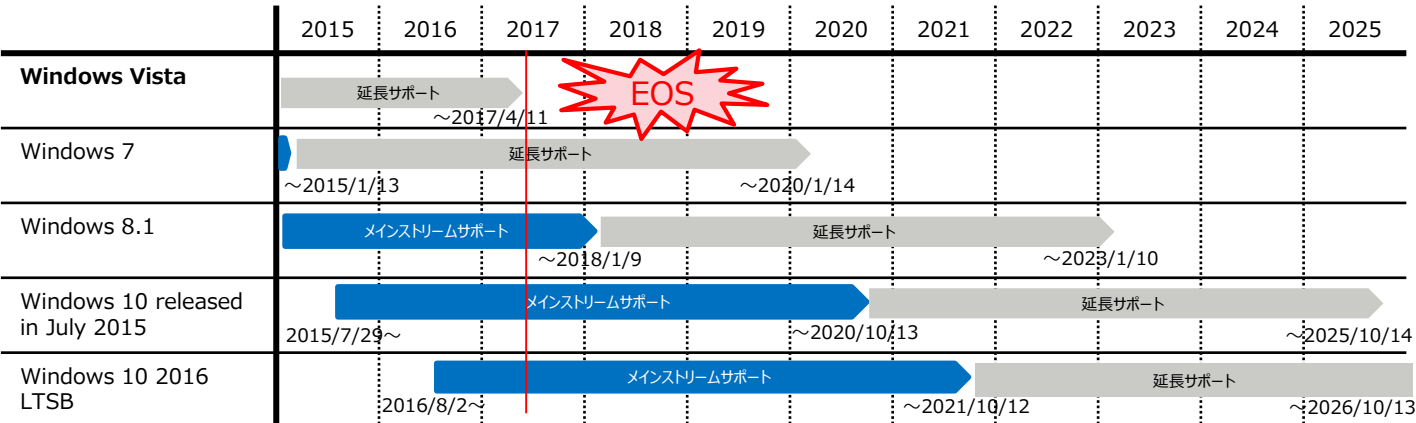
注2）：マイナンバーカードへのアクセスを実現するものであり、提供中及び今後提供される全てのアプリケーションの動作を保証するものではありません。

Windows Vistaの延長サポート終了について

Windows Vistaが2017年4月11日にEOS(End of Support)を迎えました。
 その他製品のライフサイクル情報についてもご参考としてまとめています。
 サポートが切れた状態で製品を使い続けると、セキュリティ面/サポート面でリスクが発生しますので、計画的な製品買い替え・アップグレード計画策定などにご活用願います。

Microsoft社

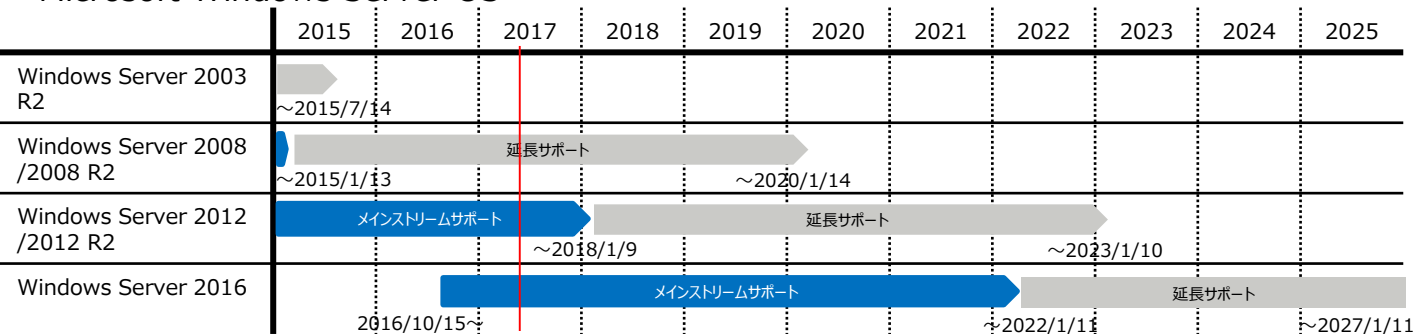
■ Windows Client OS



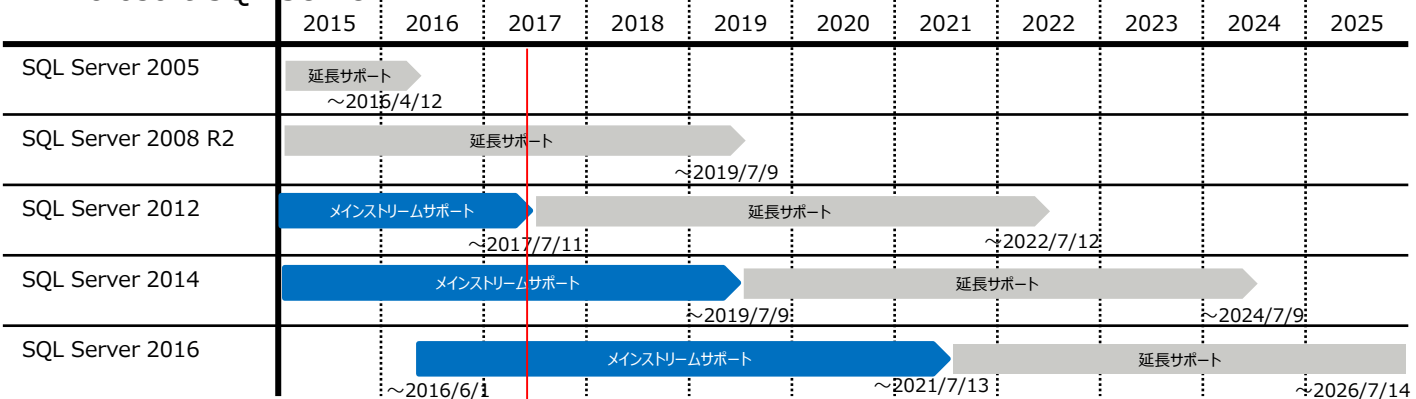
※ Windows 8がサポートを受け続けるには、8.1へのアップグレードが必要です。

※ 次世代CPU (Skylake) 搭載端末のWindows 7/8.1は2018年7月17日までのサポートでしたが、2016年8月11日(米国時間)にMS社から方針変更があり、Skylake搭載端末であっても上記表の期間、サポートを受けられるようになりました。

■ Microsoft Windows Server OS



■ Microsoft SQL Server



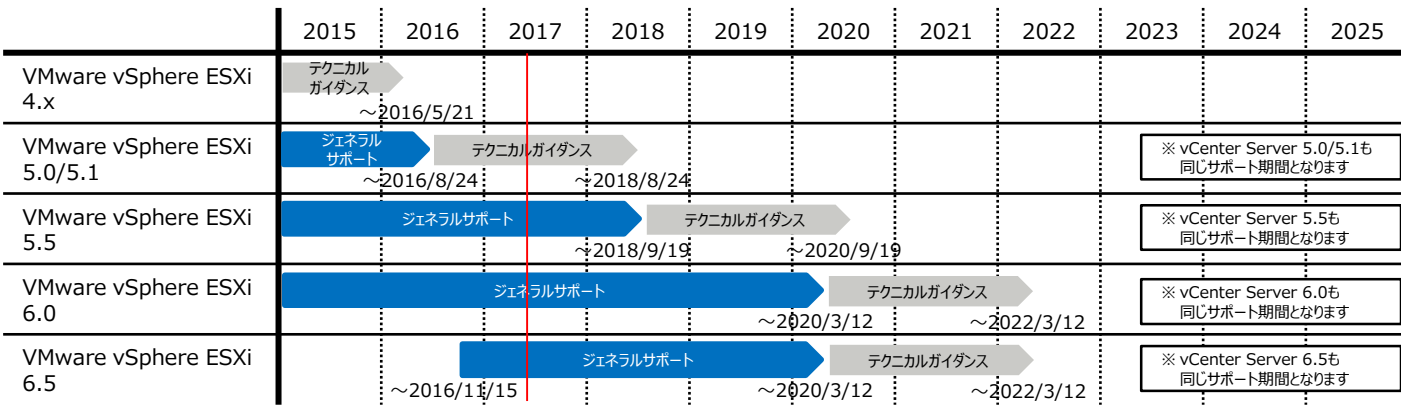
メインストリームサポート : セキュリティ更新プログラムのほか、仕様変更や新機能の追加、セキュリティ関連以外の修正プログラムを提供

延長サポート : 脆弱性を解消するセキュリティ更新プログラムの提供のみ

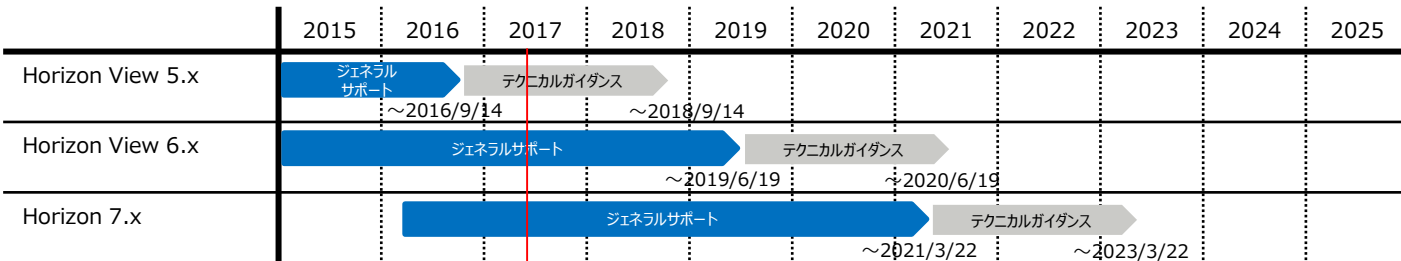
Microsoft社製品のライフサイクルの詳細は、以下のURLをご参照ください。
<https://support.microsoft.com/ja-jp/gp/lifeselect>

VMware vSphere ESXi

VMware vSphere ESXi



VMware Horizon View/Horizon

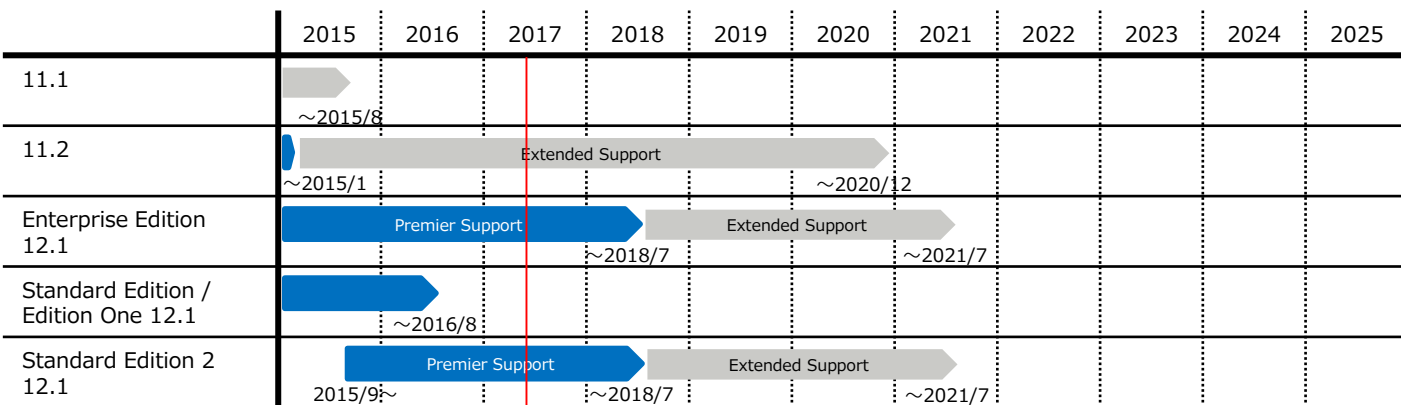


- ジェネラルサポート** : 新規のセキュリティパッチ/不具合修正、および新規ハードウェアサポートなどを提供
- テクニカルガイダンス** : 既存のセキュリティパッチ/不具合修正などを提供（新規のものについては提供しない）

VMware vSphere ESXiのライフサイクルの詳細は、以下のURLをご参照ください。
<http://www.vmware.com/jp/support/policies/lifecycle.html>

オラクル社

Oracle Database Releases



- Premier Support** : 出荷開始日から5年間、包括的なメンテナンスとソフトウェア・アップグレードを提供
- Extended Support** : 特定のOracleソフトウェア・リリースに関して、メンテナンスとアップグレードを追加料金でさらに3年間提供

Oracle Database Releasesには、「Premier Support」または「Extended Support」終了後に利用できる「Sustaining Support」があります。
 Sustaining Supportとは、Oracleソフトウェアのライセンスを保持しサポート契約を継続する限り、オラクルのオンライン・サポート・ツール、アップグレード権、既存のプログラム修正、テクニカル・サポートのエキスパートによる支援などを提供するもので、上表記載のバージョンについては、現時点で終了期間は定められていません。

Oracle Database Releasesのライフサイクルの詳細は、以下のURLをご参照ください。
<http://www.oracle.com/jp/support/lifetime-support/index.html>